

同窓会会報

保険医療と薬剤師

11期 石井甲一（厚生省薬務局）

保険医療と医療費

昭和36年に国民皆保険体制が実現してから、わが国ではすべての国民が安心して最良の医療を受けることが可能となり、世界一の长寿国家となつた。一方、国民医療費は、昭和36年に約5,000億円であったものが、平成2年には20兆円を超えるところとなり、医療に求められるものが、より良質という面に加え、より効率的という面が強調されるようになつた。その中

で、医療における「物」と「技術」の分離という観点から、医薬分業が叫ばれ、近年保険薬局における調剤に係る医療費は、医療費全体の伸び率を大幅に上回る率で推移している。平成元年度の医療費が5・2%増であるのに対し、調剤に係る医療費は15%の増加であり、全医療費の2・5%を占めるに至つてている。

すなわち、保険薬局における薬剤師の業務が医療の中で益々重要となつてきていているわけで、それだけ医療人としての責任も大きくなつてくることになる。

また、厚生大臣が定める医薬品以外の医薬品を使用して調剤してはならないことになっており、すなわち、患者にとって適切な調剤でなければならず、使

用する医薬品は薬価基準に収載されたものに限られる。薬価基準は保険医療で使用できる医薬品の品目表であるとともに、保険医療で患者に投与された医薬品の保険からの償還価格を定めた価格表の性格を有している。薬価基準については、

「薬漬け医療」との問題提起がある。薬漬け医療との問題提起があるとの問題提起があり、全ての取引価格の加重平均値を算定に当たって加味するとの変更が二度にわたって行われた。しかし、バルクライン方式を基本とするため、価格操作の余地が依然として存在するため、平成3年5月にはバルクライ

ン方式を完全に廃止し、加入価格との差が薬価差益となって医療機関の収入になり、医療機関は医薬品を使用すればするほど収入が大きくなる、という指摘である。このため、実際の販売価格を定期的に調査し、薬価基準価格を実勢価格に近づけるための薬価改正を実施してきている。改正の際の算定方式は販売価格をいいものから並べ、90%目の価格をもって新薬価にするという90%バルクライ

ン方式が長年採用されてきた。しかし、この方式では一部の価格を高値に維持しておけば引き下げ幅を小さくできることとの問題提起があり、

重平均値のみを基本とし、改正前の薬価の15%を加えたり、医薬品を使用すればするほど収入が大きくなる、という指摘である。このため、実際の販売価格を定期的に調査し、薬価基準価格を実勢価格に近づけるための薬価改正を実施してきている。改正の際の算定方式は販売価格をいいものから並べ、90%目の価格をもって新薬価にするという90%バルクライ

ン方式が長年採用されてきた。しかし、この方式では一部の価格を高値に維持しておけば引き下げ幅を小さくできることとの問題提起があり、

重平均値のみを基本とし、



保険医療制度と薬剤師

保険医療制度と薬剤師

薬価基準

医薬分業と薬剤師

薬価基準と診療報酬

薬価基準は保険医療で使用できる医薬品の品目表であるとともに、保険医療で患者に投与された医薬品の保険からの償還価格を定めた価格表の性格を有している。薬価基準については、

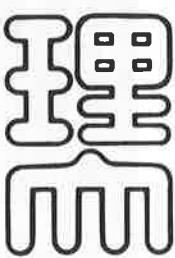
「薬漬け医療」との問題提起がある。薬漬け医療との問題提起があり、全ての取引価格の加重平均値を算定に当たって加味するとの変更が二度にわたって行われた。しかし、バルクライン方式を基本とするため、価格操作の余地が依然として存在するため、平成3年5月にはバルクライ

ン方式が長年採用されてきた。しかし、この方式では一部の価格を高値に維持しておけば引き下げ幅を小さくできることとの問題提起があり、

重平均値のみを基本とし、改正前の薬価の15%を加えたり、医薬品を使用すればするほど収入が大きくなる、という指摘である。このため、実際の販売価格を定期的に調査し、薬価基準価格を実勢価格に近づけるための薬価改正を実施してきている。改正の際の算定方式は販売価格をいいものから並べ、90%目の価格をもって新薬価にするという90%バルクライ

ン方式が長年採用されてきた。しかし、この方式では一部の価格を高値に維持しておけば引き下げ幅を小さくできることとの問題提起があり、

重平均値のみを基本とし、



良質で効率的な医療に貢献することにはならない。あわせて医療機関に勤務する薬剤師は今後外来患者のための調剤から、入院患者のための調剤と服薬指導にその重点を移していく必要があるのではないか。すなわち、病棟に入り、医療チームの一員となっていく必要

があるものと考えている。診療報酬においても、それをしていく必要があろう。いずれにしても、今後と医療人としての薬剤師的重要性が益々大きくなっていることを、医学関係者は常に頭に置いておく必要がある。

現在徳島大学薬学部教授として、それぞれ活躍し、薬剤学の発展のために貢献しておられます。

卒業研究生として、一番印象深いのは、第1回生で、なんの設備もないガランとした研究室に実験用の機器などの準備を共にしたこと。私もまだ若く、学生さんも活気があふれ、皆おそらくまで研究に没頭していました。あれから、30年間がまたたく間に過ぎ去ったという感じがします。

次に当教室の研究テーマについて説明しましょう。当教室は昭和37年10月の開設から今日の発展まで30年間を担うことができ、大変幸運だったと思っています。

薬剤学教室の創設から今日の発展まで30年間を担うことができ、大変幸運だったと思っています。

私が新設の東京理科大学薬学部に奉職したのは昭和37年10月です。当時、東京大学に文部教官助手として勤務していた私にこの話を進めて下さったのは、東京大学教授の今は亡き恩師、野上寿先生です。

私は昭和39年3月卒業の第1期生が3年生の時に理大に来ることになります。

私の所の助教授であった岩鶴素治さんは、現在帝京大学薬学部教授として活躍中

恩師登場

思いへくすゝに

加藤百合子



当教室は昭和37年10月の開

設より、主として物理薬剤学的な、溶解補助剤の研究、医薬品の微細化、医薬品の多形とバイオアベイラビリティ、蛋白結合などを昭和59年頃まで行つてきましたが、時代の流れとともに、テーマも変わり、昭和60年頃より現在まで、物理薬剤学、生物薬剤学両方にかかるテーマであるドラッグデリバリー・システム（DDS）の開発を大きな柱として研究を行っています。

ドラッグデリバリーのデリバリーは配達することで、例えば郵便物が宛名人に届けられるのと同じように、薬を定められたところへ届けるのがねらいです。薬物投与の最適化を目標として、例えば郵便物が宛名人に届けられるのと同じように、薬物を必要とする部位に、必要な濃度で、必要な時間供給しようというものです。このテーマの一部として、

「平成3年度放射線安全管理功労者」として科学技術庁長官賞を頂きました。この放射線安全管理功労者顕彰の主旨は、「放射性同位元素の取り扱いにおける安全管理のため尽力し優れた成果を挙げた個人又は事務所に対し、科学技術庁長官賞を贈り、放射線安全管理功労者として表彰することにより、関係者の意欲の向上及び放射性同位元素等の取り扱いにおける安全確保に対する国民の理解の増進に資することを目的とす

「放射線安全管理功労者」としての科学技術庁長官賞の受賞について

1期 黒崎浩巳

今年度は、11月8日（レントゲンがX線を発見した日）学士会館で受賞しました。私は、昭和39年大学卒業以後、今まで放射性医薬品の研究開発・製造に携わってきました。この間、放射線取扱主任者として、また放射性医薬品製造の責任者として、安全管理に関わってきました。しかし、大学を受けた厳しい安全管理の時代の放射化学教室で指導基本が大いに役立っていました。

た当教室の芳賀信助教授を始め、海保、榎本両助手の尽力によるものと感謝しております。また設立から今まで多くの助手の方々で割愛させて頂きます。いたとされています。私は、私なりに長期全力投球ができたのは、私の研究を支え、推進して下さった先端の研究であると自負しています。

これまでの多くの助手の方々の協力に負うところが大きかったです。終わりに、理大薬学部の今後の発展向上と本学をさえる卒業生の皆様の御多幸を祈念して筆を置きます。

◇ ◇ ◇

◇



3期生の同期会

3期生同窓会（昭和41年卒）が、青木（旧姓・中村）みやこ、金親肇、中村洋

司の三氏のお世話を、
薬学講座と同日（平成3年
10月6日）に神楽坂の日本

「3期生同窓会」開催される

3期 鈴木政雄

出版クラブ会館にて開催された。会は中村氏のいつに変わらぬ軽妙な司会、渡辺綱子女史の乾杯の音頭で始まつた。当日、休日にもかわらず御出席戴いた佐々木正先生（現、河村理化研究所理事）、兼松顯先生（現、九大薬学部教授）、加藤百合子先生（本学教授）、石倉俊治先生（本学教授）、星野修先生

（本学教授）の回顧談や最近の話題を拝聴し、ついで参加者全員（62名）の近況報告、卒業時の研究室単位の写真撮影などを行つた。

旧交を暖めるには余りにも短い時間でしたが、次回の同窓会を微生物学教室が担当することに決め、先生方や旧友との別れを惜しみつつ散会した。



4期生の同期会

4期 池田幸雄

宇留野強

卒業後はや、二十五年目を迎えるとしている4期卒業生の同期会が、九月十六日（月）に飯田橋会館にて、第四回目の会合として催された。石井史氏（高崎経済大学教授）、2期生一環境問題について）、市谷仁氏（オリエックスチーン代表）、5期生一小売業界の将来展望）、石井甲一氏（厚生省）、11期生一健康保険行政から見た薬剤師の使

命と将来展望）等の講演を

協力していただき、久しうりの同窓生の活発な情報交換の場として、有意義な一日となつた。また来年以降も、定期的な会合として催すことを確認し、次回は7月中に予定している。なお、講演を快く引き受けていただいた各氏には、紙上を借りて改めて感謝の意を表します。

4期生の同期会



長野県、東信・北信

在住者のつどい



2期 谷 憲昭

現在、長野県に在住している卒業生は71名おります。その内訳は39年卒業の1回生から平成2年卒業の27回生までそろっています(47年と61年卒業はいませんが)。

このうち、東信地区と北信地区に在住する卒業生35名中16名が出席して平成3年8月11日に上田東急インで同窓会を開催しました。

この日は、上田薬剤師会の研修会講師として来県していた、62年卒業の磯部総一郎さん(厚生省薬務局企画課勤務)を囲んで4時間にわたる楽しい一時で、来年も開催と決定して終了しました。

◇ ◇ ◇

元薬学部長・薬学部教授
研究科長を歴任された。また

守屋 寛先生逝去



学部長、大学院薬学研究科

守屋 寛教授は病気療養中のところ平成3年6月17日逝去された。享年65歳。

守屋先生は昭和37年4月薬学部教授に就任。薬学科主任、大学院薬学研究科幹事、同委員会委員、薬学研究科長を歴任された。また

△ △ △



守屋 寛教授を悼む

薬学部長 久保田 和彦

守屋寛教授が昨年(平成3年6月17日)永眠されました。このことは同窓の皆さんも大多数の方が既にご存知と思います。守屋先生は昭和37年4月、本学薬学部の生化学の教授として赴任され、以来29年の長きにわたり薬学部の教育・研究の発展に多大の貢献をされてきました。この間、薬

学部長、大学院薬学研究科
長などの重責も果たされ、わが薬学部にとってかけがえのない、重鎮的存在でした。研究面では、キニン・カリクレイン研究の第一人者として国際キニン会議会長も務めるなど、国際的にもその活躍が高く評価されていました。門下生から多数の博士が育ったことからもその業績が偲ばれます。

國は特に勳三等を授与され、本学としても守屋家・薬学部合同葬を、昨年7月27日に盛大にとり行いました。

ここに、改めて同窓生の皆さんと共に守屋先生のご功績を偲び、先生のご冥福をお祈りしたいと思います。

△ △ △

| 1991年度収支予算書 1991年4月1日-1992年3月31日 | | | | 会計監査報告書 東京理科大学薬学部同窓会 1990年4月1日-1991年3月31日 | | | |
|-------------------------------------|------------|-----------|------------|---|--------------|----------|-------------|
| 収入の部 | | 支出の部 | | 収入の部 | | 支出の部 | |
| 内訳 | 金額(円) | 内訳 | 金額(円) | 内訳 | 金額(円) | 内訳 | 金額(円) |
| 同窓会費 | 2,500,000 | 電話代 | 40,000 | 同窓会費 | 3,605,000 | 電話代 | 30,193 |
| 利息 | 500,000 | 人件費 | 300,000 | 名簿売上金 | 764,000 | 人件費 | 129,400 |
| 名簿売上金 | 300,000 | 事務用品費 | 60,000 | 寄付その他 | 153,376 | 事務用品費 | 52,633 |
| | | 通信費 | 800,000 | 利息 | 657,000 | 通信費 | 751,146 |
| | | 会議費 | 100,000 | | | 会議費 | 1,832 |
| | | 会誌発行費 | 450,000 | | | 会誌発行費 | 277,416 |
| | | 予備費 | 400,000 | | | 雑費 その他 | 37,624 |
| 当期収入合計 | 3,300,000 | 当期支出合計 | 2,150,000 | 合計 | 5,170,264 | 合計 | 1,280,244 |
| 前期繰越金 | 18,595,987 | 定期預金 | 15,000,000 | 前年度繰越金 | 14,705,967円 | 今年度残高 | 3,890,020円 |
| 収入合計 | 21,895,987 | 支出合計 | 17,150,000 | 本年度繰越金 | 18,595,987円 | | |
| | | 次期繰越金 | 4,745,987 | 内訳 定期預金 | 10,000,000円 | | |
| | | | | 郵便預金 | 4,794,000円 | | |
| | | | | 銀行預金 | 3,801,987円 | | |
| 以上の通り会計報告致します。 | | | | | | | |
| 1991年7月20日 | | | | | | | |
| 会計 池田房夫 小島理恵子 | | | | | | | |
| 会計監査報告書 | | | | | | | |
| 会計報告書の各事項を調査し、その収支共に正確であることを認めます。 | | | | | | | |
| 1991年7月20日 | | | | | | | |
| 会計監査 池田房雄 田中眞代子 | | | | | | | |
| 1990年度正味財産の内訳 1991年3月31日現在 | | | | 1990年度貸借対照表 1991年3月31日現在 | | | |
| 科目 | 金額 | 本年度増額分 | | 資産の部 | 負債及び正味財産の部 | | |
| <流動資産> | | | | 科目 | 金額(円) | 科目 | 金額(円) |
| 現金 | 0 | 0 | | I 流動資産 | | III 流動負債 | |
| 郵便預金 | 4,794,000 | 3,452,500 | | 1) 現金 | 0 | 未払金 | 0 |
| 銀行預金 | 3,801,987 | ▲ 562,480 | | 2) 郵便預金 | 4,794,000 | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | 1,000,000 | | 3) 銀行預金 | 3,801,987 | | |
| | | | | 4) 定期預金 | 10,000,000 | | |
| | | | | 小計 | (18,595,987) | | |
| <固定資産> | | | | IV 固定資産 | | V 正味財産 | |
| 有形固定資産 | | | | 1) 有形固定資産 | | 正味財産 | |
| パーソナル | 420,000 | | | (パソコン) | 420,000 | (当期増加分) | 19,193,555 |
| コンピューター | | | | (ソフト) | 104,768 | | (3,916,388) |
| (1987.10.20 購入) | | | | 2) 無形固定資産 | | | |
| コンピューターソフト | 78,400 | | | (電話加入権) | 72,800 | | |
| (1987.10.27) | | | | 小計 | (597,568) | | |
| コンピューターソフト | 26,368 | | | 合計 | 19,193,555 | 合計 | 19,193,555 |
| (1991.02.14) | | | | | | | |
| 無形固定資産 | | | | | | | |
| 電話加入権 (1987.11.20) | 72,800 | 0 | | | | | |
| 合計 | 19,193,555 | 3,916,388 | | | | | |

特集 女性の再就職



新しい時代への戦力

2期 大森 ゆかり（新潟）

激動の1991年が過ぎ

次第です。

「女性の再就職について」
理大を卒業して早いもの
で、もう27年も経ってしまいました。
学生時代がつい
いました。この間のよう
な気がします。

私たち薬学部2期生は結束
がかたく、どこに住んでい
ようとも理大薬学部のため
なら少しでもお役にたちた
いという考え方が多いの
です。かくいう私もそれに
もれず、この拙い才能で原
稿用紙の升目を埋めている

「女性の再就職」大賛成で
す。「女性の再就職」は今
後社会の大きな流れとなり、
身は卒業後、助手として1
年間理大で働き、その後結
婚のため新潟に帰り、同時
に病院勤務をしておりまし
た。しかし子供が生まれて
からは育児のため一時職を
去り、再び就職の予定でし
たが、子供の手が離れた頃、
ちょうど主人が内科医院開
業のため、そのお手伝いと
いう形でまた働き始めまし

た。受けた教育を社会に生
かしたいという考え方で就職
をします。その時、総合職
を望む人が多いということ
もその現れかと思います。
女性は家において男性が外で
働くという形態は崩れてい
き、夫婦共働きがまったく
あたりまえになってきたよ
うです。しかしながら、男
女平等といえども、出産は
女性にだけ課せられたもの
です。また、育児も母親が
すべきものであり、それが
ベストだと私は考えます。
必然的に女性は一時職を去
り、ある程度子供が育つて
から再就職することになる
のです。その時間題になる

た。でも私の場合は非常勤的な勤めなので、女性の再就職の例には当てはまらないかと思います。

私個人の考え方としては

「女性の再就職」大賛成で
す。「女性の再就職」は今
後社会の大きな流れとなり、
身は卒業後、助手として1
年間理大で働き、その後結
婚のため新潟に帰り、同时
に病院勤務をしておりまし
た。しかし子供が生まれて
からは育児のため一時職を
去り、再び就職の予定でし
たが、子供の手が離れた頃、
ちょうど主人が内科医院開
業のため、そのお手伝いと
いう形でまた働き始めまし

た。でも私の場合は非常勤的な勤めなので、女性の再就職の例には当てはまらないかと思います。

が年齢制限で、職場が狭
められ、待遇においても、
なかなか今までの就職経験

が現状です。育児を経験し
た女性は色々な意味でも視
野が広く、素晴らしい企業

の戦力になると思います。
私が今願うことは、是非
このような女性が再就職し
先进国社会を見ても同じで
す。社会が複雑化、多様化
して文化が進むにつれて、
人々の生活の質が上がり、
女性は本当の意味での男女
平等を望み、社会にいつも
連なっていきたいと思いま
す。

以上のこととは私個人の小
さな声ですが、少しでも女
性が働きやすい社会になる
ことを望んでいます。

高齢化社会の薬剤師

4期 須賀井 瑞穂（神奈川）

「薬局さん、このお薬両
方とも赤い色だけど、同
じ薬かね。」

かけたね。」

併設されたホームのおばあ

「これは外は赤い色して
るけど、中は黄色」と白だ
から、飲む時は大丈夫。
間違えずに飲めますよ。」

いたね。」

大学を卒業して会社の研
究室、薬局と、4年程の勤
務以来、子育てに追われて
いた日々でしたが、老人の
入院の多い二〇〇床の病院

が年齢制限で、職場が狭
められ、待遇においても、
なかなか今までの就職経験

が現状です。育児を経験し
た女性は色々な意味でも視
野が広く、素晴らしい企業

の戦力になると思います。
私が今願うことは、是非
このような女性が再就職し
先进国社会を見ても同じで
す。社会が複雑化、多様化
して文化が進むにつれて、
人々の生活の質が上がり、
女性は本当の意味での男女
平等を望み、社会にいつも
連なっていきたいと思いま
す。

以上のこととは私個人の小
さな声ですが、少しでも女
性が働きやすい社会になる
ことを望んでいます。



に薬剤師として再就職したのが58年の秋でした。二年間は週三日間のパートとして、勉強しながらの充電期間。商品名と一般名がなかなか一致しなかつたり、効能がわからず薬のある場所が探し出せなかつたり、カプセルか錠剤かの判別がつかず、薬袋の記入が遅くなつたりで、足手まといになるばかりでした。でも勤めるからにはパートでも一人前、その気持ちを忘れずによく、病院にいる間は必死でした。その後60年秋より、前任者の退職の後、本格的に仕事に取り組むことになり、世に言う「仕事と家庭との両立」に悩む日々となっています。

入院調剤（ワンパック・ワンドーブ）が主で、時間に追われる外来調剤が比較的少ないため、他の病院に比べて本を読んだりする時間が多少持てるというメリットは、再就職する条件として恵まれていたと思います。

ただ、次から次と新薬が出てくる現状では、覚えることが多すぎて、錆ついた頭をフル回転させなくては追いついでいけません。何を忘れないければ、新しい会話をわかり、4年間まず

のことが覚えられないのではと思う。昨今です。

「〇〇さん。今日もお元気でいいわね。」「元気なのでそれが一番困るのよ。」

この二月で一〇〇才になるおばあちゃんとの会話。70代は若い。90代でも珍しくない人達と接し、話をして、日本の医療は進歩したと喜ぶべきか、また、この先を憂うべきか悩むところです。入院中の患者さんを見て、スペゲティ状態といわれる今の医療に、これ程までに

してと、疑問に思っていたところ、自分の親が倒れて入院中となると、人間は身體勝手です。頭がしつかりしていれば、たとえ歩けなくとも、一日でも長生きしてほしいと思ってしまってほしいと思つてしまつたのであります。親と患者さんの違いはあります。が、医療の現場にいる私はまた悩みます。

でも、いろいろな喜び、悩みを持つのも、再就職したお陰で、毎日の仕事に精一杯取り組んでいこうと思っています。

女性の転職について思つたこと

5期

落合 棣 美（岩手）

私の出身地は岩手県です。今でこそ東北地方で安比（あっぴ）スキー場のあるところとして多少は知られている（と岩手の人は思つている）県ですが、私の入学したところは薬学部に岩手県から来た人は多分一人もおらず、岩手県ってどこ？

入院調剤（ワンパック・

ワンドーブ）が主で、時間に追われる外来調剤が比較的少ないため、他の病院に比べて本を読んだりする時間が多少持てるというメリッ

トは、再就職する条件とし

て恵まれていたと思います。

ただ、次から次と新薬が

出てくる現状では、覚える

ことが多すぎて、錆ついた

頭をフル回転させなくては

追いついでいけません。何

を忘れないければ、新しい

会話をわかり、4年間まず

やらされたり、学会が近づ

くと夜の10時、11時までス

ライドの準備をしたり、けつ

こう忙しかったようにも思

います。

3年後に、このままいくと一生独身で、孫の顔が見られないのではないかと、不安を抱いた母親の陰謀で見合いをして結婚。そして退職。その後、知人に頼まれて盛岡市内の薬店の管理薬剤師を勤め、その間に子供もふえ、引っ越しも何回かあって、今から12年前に現在地の盛岡に落ち着きました。職場も薬店から近所の産婦人科医院の調剤薬局へ変わり、次にやはり近所の内科小児科医院の調剤薬局へ。これらの調剤薬局は例の第二薬局で、眞面目に長時間勤めても金銭的には最低といったところでした。盛岡精神病院の薬剤室にも数年パートで勤め、この時なんのかんのいわれながら（家人や両親など）車の免許も取つたし、行ってみるかという感じで移りました。東京と違つて給料はかなり安く、かけた学資を考慮すれば元はそれませんが、今はこんなものかなと思つています。転職するごとに新しいことも覚え、新しい人間関係も広がりました。

やらされたり、学会が近づ

くと夜の10時、11時までス

ライドの準備をしたり、けつ

こう忙しかったようにも思

います。

3年後に、このままいくと一生独身で、孫の顔が見られないのではないかと、不安を抱いた母親の陰謀で見合いをして結婚。そして退職。その後、知人に頼まれて盛岡市内の薬店の管理薬剤師を勤め、その間に子供もふえ、引っ越しも何回かあって、今から12年前に現在地の盛岡に落ち着きました。職場も薬店から近所の産婦人科医院の調剤薬局へ。これらの調剤薬局は例の第二薬局で、眞面目に長時間勤めても金銭的には最低といったところでした。盛岡精神病院の薬剤室にも数年パートで勤め、この時なんのかんのいわれながら（家人や両親など）車の免許も取つたし、行ってみるかという感じで移りました。東京と違つて給料はかなり安く、かけた学資を考慮すれば元はそれませんが、今はこんなものかなと思つています。転職するごとに新しいことも覚え、新しい人間関係も広がりました。



おこうという感じで、「退

職されてもまたすぐ来るさ」

「誰がきてもいいや」とい
う経営者側の考え方なさが
あり、一生懸命働く人と、
プライドだけ高く「先生、
先生」と呼ばれて満足して
仕事は適当というのん気な
人もいて、現状はなかなか
複雑です。

病院関係では最近はD
I業務に人気が移り、D
Iセ
ンター的なところへ引かれ
てパソコンをたたく人がふ
え、待遇の悪さもあってか
人手不足の状態のようです。
毎日毎日薬局の窓口でお

仲間の1人に言われたこと
もありますが。

いつまでも、どこかで医
療と繋がっていたい、医学
と薬学の進歩について少し
でも知りたいという思
いで、今まで働いてきたし、
これからも働いていきたい
と思います。転職について、
あまりこだわりも持つては
いませんが、やはり家族の
理解と協力のおかげで今ま

女性の再就職について

5期

榎原 恵美子(千葉)

じさん、おばあさんたち
と方言まじりの会話をあや
つる私のようなおばさんは
少なくなりつつあります。
ともあれ私の転職もこの
へんで終わりかと思います。
身体が続く限り今の職場で
思っています。中小病院
で赤字に悩みながらも各種
の活動も活発に行われ、勉
強会もあり、講演会・講習
会にも出してもらえるし、
院内の学術交流集会もあっ
たり、結構私にあってるか
なと思っています。「どこ
の職場でもそう思っていた
たんでしょ、あなたは」と、

年暮れも迫ったある朝、
突然の電話で私の十五年間
の専業主婦生活は終わること
になった。海外を含めて
引っ越し七回、夫の転勤に
付いて回って子供は娘三人、
ようやくマイホームに落ち
着いてそろそろ三年という
時、市内に当時唯一という
総合病院の事務長さんから
「薬剤師の免許を持つてい
るなら働いてみないか」と
の電話であった。

大学を卒業して一年半で、
実社会での男女差別や女性
はかくあるべしという古い
概念から抜け出せずに、直
接的には誰れに強制された
ことがあります。また家族のせい
で、こんなに何回も職場を
変わってしまったとも思
います。人それぞれですので
何とも言えませんが、いつ
でも好奇心、探求心を失わ
ずに、若い心で働いていき
たい。もつともっと勉強し
て、医師からも患者さんか
らも、信頼される薬剤師に
なりたいと考えております。

で続けて働いてこられたと
思います。また家族のせい
で、こんなに何回も職場を
変わってしまったとも思
います。人それぞれですので
何とも言えませんが、いつ
でも好奇心、探求心を失わ
ずに、若い心で働いていき
たい。始めたのは、娘達が二才と
三才になった秋のニューヨー
ク転勤の辞令である。

アメリカの主婦の生活に
は大いに刺激された。安い
キャベツを探し歩く、なん
て効率の悪いことはしない。
家事は一週間単位で買物は
計画的、主婦といえども自
分の世界を持っている。ピ
アノの自宅教授、英会話ス
クールの先生、地域のサー
クル活動、ボランティア、
PTA等々。遊びもそう。

職場結婚であったから仕事
に情熱を燃やしている会社
での夫の様子は知っていた。
だからと言って私が一日中、
安いキャベツを求めて自転
車を走らせたり、訪ねて來
る人もない家で一人編物を
して暮らしていく良いはず
はない。

あの受験勉強は、あの下
宿生活や、大学での勉強は
一体何のためだったのか…。
子供のお誕生日会にお稽古
事とフル回転の専業主婦を
実践してみた。だが何か空
しい。本当にこれで良かつ
たのかと迷い始めた頃の電
話であった。

大学を卒業して一年半で、
実社会での男女差別や女性
はかくあるべしという古い
概念から抜け出せずに、直
接的には誰れに強制された
ことがあります。また家族のせい
で、こんなに何回も職場を
変わってしまったとも思
います。人それぞれですので
何とも言えませんが、いつ
でも好奇心、探求心を失わ
ずに、若い心で働いていき
たい。始めたのは、娘達が二才と
三才になった秋のニューヨー
ク転勤の辞令である。

で、いけない家庭」というイ
メージを持たれることを、
夫に、そしてその親戚に悪
戦争に明け暮れていた我が
家に、一味違った光が差し
始めたのは、娘達が二才と
三才になった秋のニューヨー
ク転勤の辞令である。

夫に、そしてその親戚に悪
戦争に明け暮れていた我が
家に、一味違った光が差し
始めたのは、娘達が二才と
三才になった秋のニューヨー
ク転勤の辞令である。



家族と一緒に

おことうという感じで、「退
職されてもまたすぐ来るさ」

「誰がきてもいいや」とい
う経営者側の考え方なさが
あり、一生懸命働く人と、
プライドだけ高く「先生、
先生」と呼ばれて満足して
仕事は適当というのん気な
人もいて、現状はなかなか
複雑です。

病院関係では最近はD
I業務に人気が移り、D
Iセ
ンター的なところへ引かれ
てパソコンをたたく人がふ
え、待遇の悪さもあってか
人手不足の状態のようです。
毎日毎日薬局の窓口でお

じさん、おばあさんたち
と方言まじりの会話をあや
つる私のようなおばさんは
少なくなりつつあります。
ともあれ私の転職もこの
へんで終わりかと思います。
身体が続く限り今の職場で
思っています。中小病院
で赤字に悩みながらも各種
の活動も活発に行われ、勉
強会もあり、講演会・講習
会にも出してもらえるし、
院内の学術交流集会もあっ
たり、結構私にあってるか
なと思っています。「どこ
の職場でもそう思っていた
たんでしょ、あなたは」と、

年暮れも迫ったある朝、
突然の電話で私の十五年間
の専業主婦生活は終わること
になった。海外を含めて
引っ越し七回、夫の転勤に
付いて回って子供は娘三人、
ようやくマイホームに落ち
着いてそろそろ三年という
時、市内に当時唯一という
総合病院の事務長さんから
「薬剤師の免許を持つてい
るなら働いてみないか」と
の電話であった。

大学を卒業して一年半で、
実社会での男女差別や女性
はかくあるべしという古い
概念から抜け出せずに、直
接的には誰れに強制された
ことがあります。また家族のせい
で、こんなに何回も職場を
変わってしまったとも思
います。人それぞれですので
何とも言えませんが、いつ
でも好奇心、探求心を失わ
ずに、若い心で働いていき
たい。始めたのは、娘達が二才と
三才になった秋のニューヨー
ク転勤の辞令である。

も迎えに行けない。熱などを出せば、仕事を休むか子供を一人にするか。どちらを考えても胃がキリキリしてくる。夫は「家族にしわ寄せが出ない程度なら働いても構わない」と言う。無理もない。夫は筋金入り(?)の会社人間。それに大黒柱精神に燃えている。第一、収入の桁が違う。一日中動き回って疲れ果てても私のパートの収入は夫の一割にも満たない。ここで本当に壁にぶつかった。

家族とは何か。仕事とは何か。子育てとは。家庭を持つ主婦が毎日外に出て働くことに限界を感じた。だが逆に良い面も見つけた。女性の再就職の場合は今すぐ家族を養う心配があるわるを得ない男性とは違い、経済的な理由第一で働くだけではない。種々の障害を乗り越えてでも働いていたいと思えるだけの自分に合った仕事を搜す余裕がある。今の状況とバランスを考えながら、将来に夢をつなげる仕事を見つける。月並みだが解決策はこの辺りにあるように思う。今私は、病院のパートの他に卒研以来興味のあつた漢方の勉強を

している。学生時代は義務でしかなかった勉強が、こんなに楽しいものだとは思わなかつた。家事など放り出したくもなるが、これもまた我慢我慢。

「人生は長い。」いつかま

10年一区切り

10期

大滝由美子(東京)

私が理科大薬学部を卒業して20年近くの年月が経とうとしている。その間ちょうど卒後10年目にトラバーユした。私にとっては一大決心、180度の転換であった。大学の研究室という、一面で生ぬるい、その反面で非常に狭い医学部の閉鎖

社会の中で、私なりに頑張ってきた10年間であった。もし私が望めばそのまま続いているであろう生活であった。研究に不満があつた訳ではないが、他の社会も経験したかった。10年間自分なりに頑張ったのだから、と10年という月日を私の気

に入った時のこととは今でも記憶に新しい。応接室で会ったのは、常務取締役、人事部長、そして中に立つて下さった開発部長であった。常務は豪放磊落の人という印象であった。言われたことは「うちの会社は君の年令の女性はとらないんだよ」「1~2年で結婚してやめるなんてことはないよね」

「何がやりたいの? 研究? 茨城の研究所は人が不足しているから、すぐにでも欲しいんだけど」であった。

私は本社勤務を希望していたので、ことわざると思つていたが、その4か月後日本橋に通うこととなつた。

あとで聞くところによると、



持ちのはずみにした。10年目を目標に、2~3年前からそちこちに機会ある毎にお願いしてみたが、大卒10年目の女性の転職先はなかなか思うように見つからなかつた。10年間研究をやつてきたのだから、全く違う職種につきたかつたが、経験も何もない私には更にむずかしかつた。



そんな折停年で退官されていた教授が私のことを気に掛けて下さり、今の会社に紹介して下さった。面接に行つた時は今でも記憶に新しい。応接室で会つたのは、常務取締役、人事部長、そして中に立つて下さった開発部長であつた。常務は豪放磊落の人という印象であった。言われたことは「うちの会社は君の年令の女性はとらないんだよ」「1~2年で結婚してやめるなんてことはないよね」

「何がやりたいの? 研究? 茨城の研究所は人が不足しているから、すぐにでも欲しいんだけど」であった。

私は本社勤務を希望していたので、ことわざると思つていたが、その4か月後日本橋に通うこととなつた。

あとで聞くところによると、

た突然の電話で未知の世界が開けることを期待しつつ、主婦業、病院のパート、漢方の勉強で、一つの調和を見つけたかな、と感じている今日この頃である。

◇ ◇ ◇

持ちはことわれないそうであつた。今までの研究生活に思い見つけたかな、と感じている今日この頃である。

先生のおかけである。今までの研究生活に思い切りつけて180度の変化を望み、そしてかなえられた私は非常に幸運だった

ところをいろいろと考え方をいろいろと考へさせられる。特に結婚、出産、育児という大仕事をかかえた女性は、やはり男性の協力なくしては仕事を続けることはむずかしいと思う。

私のように一人で頑張つている場合でも、開発という仕事は過酷である。結婚したらとても同じようには続けられないであろう。しかし、だからといって自分の道をせばめたくないと思つてはいる。今私の扱つている大きなプロジェクトが終盤に近づいている。これが片付いたら……次は何をしよう。いつも好奇心を持つこと、これが私のエネルギーである。

会社に入った当初は、自分に何が出来るか全くわからなかつた。自分に自信があつた訳では勿論なかつた。しかし自分の未知の部分を知つて、後悔しないように、納得いくように頑張つてき

ひとつこと

この『ひとつこと』欄は、同窓会への返信用葉書のメモを中心にしてまとめたものです。

○七月の土・日は休めませんので…残念です。「近頃の若い者は」とぼやきながら、店長を勤める歳になりました。アデランスと間違われます。

歯ナシ、スマートで「ワカサ」を誇っています。

1期 秦野徳久
○毎日忙しい日々を送っています。薬学講座にも参加したいし、皆様にもお会いしたいと思っております。

○毎日忙しい日々を送っています。薬学講座にも参

加したいし、皆様にもお会いしたいと思っております。あと二、三年位先には、もう少し余裕ができると思

う。その時にはぜひ。

2期 小山(井上) 隆子

○薬局に勤務。漢方薬の勉強を少しずつやっています。

4期 佐藤(谷本) 光子

○卒業して25年。月日はアッ

といります。長野県内に

卒業生が72名もいます。

長野県同窓会を作りたいと

思っていますが、なかなか実現しません。

○元気で良き妻、良き母親業を頑張っています。肥満

2期 谷 憲昭

○毎日、朝9時から午後1

時まで、近くの薬局へ勤め

ています。薬剤師3人

60才までガンバルつもりで

す。

5期 佐藤(窪田) 澄江

○小・中学生を対象にした

塾を経営しております。薬

とはかけ離れた仕事です。

3期 青木(諸橋) 靖子

○いつもお世話になります。

○毎日忙しく、若いお母さ

ん達とのギャップに悩んだり、勉強させられたり……。

4期 内田(若林) 昭子

○職場を去って早や13年に

なろうとしております。ずつ

と病気の老親の世話と子育てに専念して参りました。

5期 小沢(佐々) 明美

○化学発癌の研究を始めて

20年。少しずつ癌の顔が見えてきたような気がします。

6期 浜口(久保田) 美恵子

○現在は薬学から離れて中学

生の数学の講師をやってお

ります。環境問題の運動も

たくさん考えさせられます。

7期 西村久博

○東京から離れ早や17年。

現在は薬学から離れて中学

生の数学の講師をやってお

ります。環境問題の運動も

たくさん考えさせられます。

8期 飛田(綿貫) ゆう子

○小・中学生を対象にした

塾を経営しております。薬

とはかけ離れた仕事です。

9期 渡辺(一色) 良子

○専業主婦ですが、子供も

大きくなってきたので(小

三)働き始めたいと思って

いるこのごろです。

10期 佐藤嗣夫

○学生時代がたまらなくな

つかしくなるときがあります。

8期 飛田(綿貫) ゆう子

○専業主婦ですが、子供も

大きくなってきたので(小

三)働き始めたいと思って

いるこのごろです。

11期 渡辺(一色) 良子

○専業主婦ですが、子供も

大きくなってきたので(小

三)働き始めたいと思って

いるこのごろです。

12期 犬飼(大坪) 陽子

○現在は学生時代とは全く

異なって、日本画を勉強し

ております。四季を通じて

努力研鑽の毎日です。

13期 中野(高橋) 志づ佳

○現在、市議会議員として

働かせていただいている

14期 番井(石崎) 美枝子

○2人の男の子供からは手

が離れましたが、一才半の

末娘に振り回され、育児は

体力だと実感しております。

15期 本吉(鷹野) 恵子

○開業したものの、処方せ

んが少なく、経営困難中で

す。

16期 成田規恵

○5年前に医学部生理学の

助手になり、いま生理学が

面白くてたまらないといっ

た状況です。薬学でも是非

必要なサイエンスのはずな

のですが、現在のカリキュ

ラムにはどのくらい入って

いるのでしょうか?

16期 竹本裕美

児)。両親共働きでワイヤイです。

18期 木曾好和

○毎日主婦しておりますが、子供達も少しずつ手が離れています。(7才、5才、4才)ので、そろそろ社会復帰しようかと思っています。

16期 中井川(大館)みつ江

○JICSTの医学・薬学部門の抄録作成の仕事をしています。

17期 阪口(佐藤)和子

○三重県職員(薬学技師)となつて9年目の夏。長男は6才、長女は2才を迎え、平凡な日々の中、伊勢市に新居建築の話がまとまり、この6月に地鎮祭及び着工の運びとなり……。どうやら正月は新築の我が家にて迎えられそうです。

17期 中 正純

○田舎での田園生活を送っています。10月末に第二児が生まれる予定です。

20期 小野(蓮寺)ひろみ

○大和総研コンサルティング部勤務。薬業関連のコンサルティング業務等を受託。業界の将来動向等を研究中です。

18期 浅野信久

○三人の子供が三人とも保育園へ(5歳と3歳の双生

22期 速水美穂

○現在、米国アイオワ州立大学にボスドクとして留学しています。毎日(月～土)実験に追われる日が続いておりますが、研究室の方々や日本人の方々が親切にして下さり、楽しい日々を過ごしています。

19期 飯田 枢

○早いもので卒業して10年が過ぎました。そろそろ同期会を開いても良い頃だなと思っていました。同窓会のご発展をお祈り申し上げます。

19期 戸島喜幸

○皆様いつもお世話を下さいましてありがとうございます。結婚して上記の住所になります。一人の子育てに悪戦苦闘しております。ご出席の皆様によろしく。

20期 村山(松浦)尚美

○田舎での田園生活を送っています。10月末に第二児が生まれる予定です。

21期 中 正純

○田舎での田園生活を送っています。10月末に第二児が生まれる予定です。

23期 川越淳一

○去年就職と同時に親元から離れ、一人暮らしをしています。これからもどうぞよろしくお願いします。

24期 宮川辰治

○今年の3月に結婚して山梨から栃木に引越しました。今後は、こちらで仕事を捜したいと思っています。

24期 森田(志村)真理

○山口大学医学部専門一年生に在学中。サッカー部で医科学生体育祭に参加の人として、次から次へと出てくるギモンの山を、どうしたものかと悩んでいます。アホな質問に答えてくれる場を、ご紹介下さるとうれしいのですが……。

25期 国生成司

○今年の3月に結婚して山梨から栃木に引越しました。今後は、こちらで仕事を捜したいと思っています。

25期 田中(山中)あづさ

○山間は解剖実習に追われる医学生、夜は夜間診療で病院の薬局を守る薬剤師。現場で身についた知識と理

26期 桧垣貴美恵

○今年の3月に結婚して山梨から栃木に引越しました。今後は、こちらで仕事を捜したいと思っています。

27期 岩丸卓辞

○4月より働きはじめて、

27期 金子仁久

○4月より働きはじめて、

夢中で仕事に慣れようとしていたら、もう7月にならうとしています。とりあえず、これからもがんばっていくつもりです。

28期 伊理由香

○去年就職と同時に親元から離れ、一人暮らしをしています。これからもどうぞよろしくお願いします。

○住んでおります。なにかと落ち着かず、多忙な毎日を送っております。次回はぜひひとも出席したいと思います。

○東京大学大学院の薬品作用学教室の修士1年。理科大の評判を落とさないよう、自分なりにがんばっています。

29期 金子仁久

○4月より働きはじめて、

30期 広告専門官

○厚生省薬務局監視指導課

第7回 薬学講座開催

第7回

「痛みとのたたかい—麻薬中毒のない鎮痛薬を求めて」
講座(薬学部主催、本学生涯教育センター後援、薬学部同窓会協賛)が、平成3

年10月6日(日)本学10号館で開催された。

講師と演題は左記のとおりです。

◆ 「新しい剤形の開発をめぐる諸問題」園部尚(山之内製薬国際外部部長)

◆ 「癌の抑制遺伝子」田中貴代子(東京都臨床医学総合研究所腫瘍生化学部)

◆ 「医薬品広告規制の現状と今後の在り方」新見裕一(厚生省薬務局監視指導課)

同窓会会報の 「愛称」募集!

理科大学薬学部同窓会会報は、今回で第5号となりました。この会報の名称は「同窓会会報」のままであります。編集を担当する者として、この会報が私たち同窓生の交流の場の核として役立てられたらと思い努力しております。そのためにも、当会報が少しでも皆様に親しんで頂けるよう、前号に

引き続き、交流の場にふさわしい名称を募集することに致しました。

どうか「同封のはがき」に、いくつでも結構ですから名称を記載して頂き、6月末までに同窓会事務局までお送り下さるようお願い致します。なお、名称が採用された方には、薄謝を進呈いたします。

新役員・幹事の紹介

2期 山口 稲子

昨年の同窓会総会で新しい役員と幹事が決まりました。初めて、総ての期の幹事が揃い、各幹事を中心に同窓会の輪がさらに大きくなるものと期待しています。

今回、副会長の石井史氏(2回生)が勇退し、後任に4回生の島谷克儀氏(サンドラ品)が就任しました。

石井氏は本会の設立を企画した一人で、2回生有志間本当に御苦労様でした。

| 役員 | 会長 | 副会長 | 会計 | 監査 | 庶務 | 企画 | 幹事 | 2期 | 3期 | 4期 | 5期 | 6期 | 7期 |
|-------------------------|----------------------|-------------------------------|-----------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小原 健 | 島谷 克儀 | (4) | 小原 克志 | 和田 肇子 | 牧野 公子 | 村野 健子 | 林 多佳子 | 黒崎 浩巳 | 池北 雅彦 | 前田 初代 | 日比野 貢 | 光井 英基 | 池田 幸雄 |
| (1) | (4) | (1) | (2) | (6) | (27) | (1) | (12) | (1) | (1) | (14) | (2) | (1) | (4) |
| 福田 裕子 | 渡辺 敦 | 佐藤 薫 | 小暮 渉 | 山田 幸保 | 加藤 優子 | 山田 幸保 | 宇留野 強 | 中村 元也 | 松岡 長野 | 杉本 海保 | 西谷 宮原 | 西谷 岡宮 | 山田 石井 |
| (28) | (17) | (11) | (11) | (5) | (21) | (7) | (4) | (28) | (11) | (1) | (1) | (1) | (1) |
| 伊藤 孝雄 | 小暮 渉 | 佐藤 薫 | 永吉 月子 | 田中貴代子 | 鈴木 聰 | 永吉 月子 | 宇留野 強 | 中村 元也 | 松岡 長野 | 杉本 海保 | 西谷 宮原 | 西谷 岡宮 | 山田 石井 |
| (6) | (11) | (11) | (22) | (12) | (4) | (26) | (4) | (28) | (11) | (1) | (1) | (1) | (1) |
| 名簿 | 広報 | | | | | | | | | | | | |
| 永吉 月子 | 田中貴代子 | 鈴木 聰 | 永吉 月子 | 田中貴代子 | 鈴木 聰 | 永吉 月子 | 宇留野 強 | 中村 元也 | 松岡 長野 | 杉本 海保 | 西谷 宮原 | 西谷 岡宮 | 山田 石井 |
| (26) | (12) | (4) | (26) | (12) | (4) | (26) | (4) | (28) | (11) | (1) | (1) | (1) | (1) |
| 3・勤務場所:理大薬学部3階薬学部同窓会事務室 | 1・業務内容:同窓会名簿・会費の管理業務 | 2・勤務日時:週1~2回(曜日・時間は、ご希望に応じます) | 4・給与等:時給800円(交通費実費支給) | 5・申込先:石井史TEL 0272-24-8324(夕方6時以降ご連絡下さい) | | | | | | | | | |

理大薬学部同窓会

アルバイト募集

既卒者の求人

既卒者を対象とした求人の依頼が時折大学あてに参ります。今後、既卒者求人はその内容を薬学部内の掲示板(就職)に掲示致しますので、関心のある方はご覧下さい。

「東京理科大学
薬学部同窓会会報」

平成4年3月15日発行
編集・東京都新宿区市谷
発行・船河原町12

△非売品△

印刷・モリモト印刷株式会社
東京理科大学
薬学部同窓会